

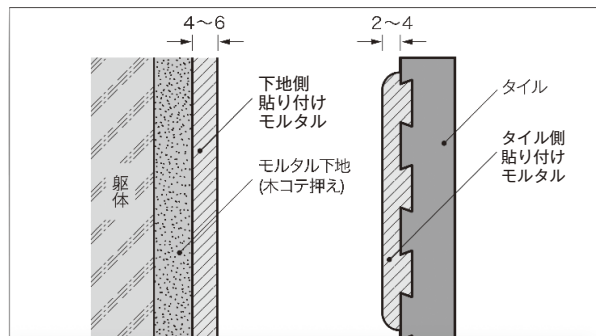
5 ウッドライクフェイスの施工方法

[ウッドライクフェイス]カラーページP.112

〈改良圧着貼り工法(壁)〉

改良圧着貼り工法は貼り付けモルタルをあらかじめ施工したモルタル下地面に塗り、これが硬化しないうちに、タイル裏面にも同じ貼り付けモルタルを塗り付けて貼り付ける工法です。下地とタイルの両面に貼り付けモルタルを塗り付けるため、良好な接着強度が得られます。

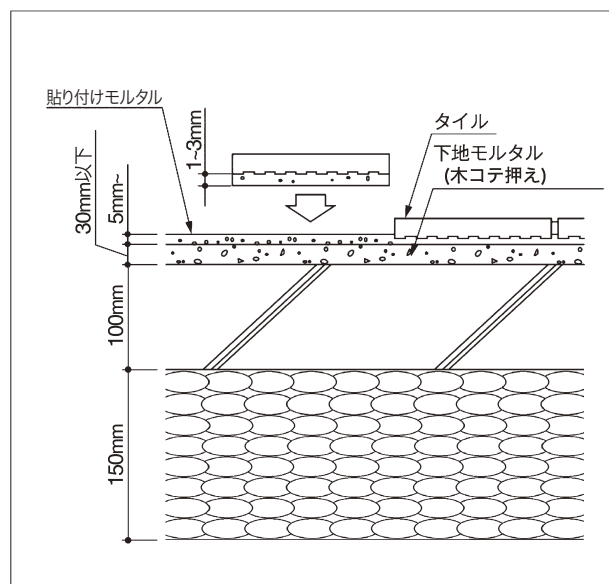
貼り付け材料 既調合モルタル
塗り厚 下地側4～6mm タイル側2～4mm



〈改良圧着貼り工法(床)〉

床面にあらかじめ木ゴテで押さえて精度の良いモルタル下地を作り、その上に貼り付けモルタルを塗布し且つタイル側にもモルタルを塗布して床タイルを貼り付ける工法。不陸の影響を受けやすい大型タイル向きで、タイル裏面へのモルタル充てん性が良好で、接着信頼性能が高い工法です。

タイル形状 …… 200角以上
大型タイル対応 …… 600mm角程度以下
貼り付け材 …… 貼り付けモルタル
調合 …… セメント:砂=1:1～1:2 (容積比)



⚠️ ご注意

- ・コンクリート下地の養生期間が不足していると大きな変位が生じます。下地の変位はタイルへ大きな影響を与えますので、2週間以上の十分な養生期間をとってください。
- ・コンクリート下地は膨張・収縮します。そのような場合に生じる力(応力)を分散させるため、伸縮目地の設置間隔を3m以内としてください。
- ・基礎スラブ、および下地モルタル、貼り付けタイル、タイル各層の伸縮目地は同じ位置に設置してください。
- ・密接に接着させるため、コンクリート下地の汚れ・レイタンスなどはあらかじめ取り除いてください。